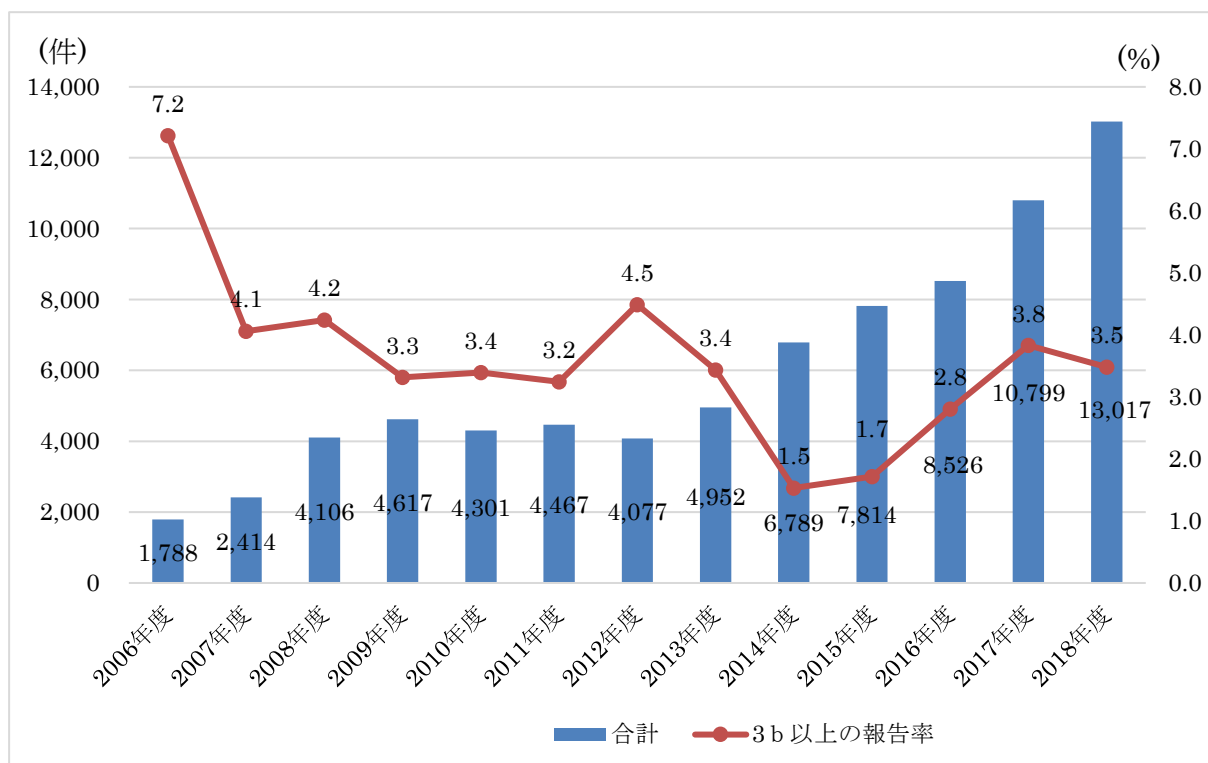


### 1 3. 安全管理報告数と患者影響度レベル 3b 以上報告率



インシデントとは、日常の場でエラーや医薬品・医療用具の不都合が見られたが、患者には実施されなかった場合、また医療行為において患者に軽微な処置を必要とした場合と有害事象（診療や医療行為等において生じた事象のうち、それにより患者に濃厚な処置や治療を必要とした場合、永続的な障害や後遺症が生じた場合や死亡した場合）を含めていう。

2018年度の安全管理報告数は13,017件と年々増加している。

一般に報告総数が病床数の5倍が透明性のおおよその目安と言われている。当院の1,435床ならば、総数が約7,000件と大きく上回っており、報告する文化は定着しつつある。しかし、報告数さえ増えれば安全が保証されるわけではない。レベル3b以上で見ると、2017年度は総報告数の3.8%であった。2018年度は3.5%とほぼ横ばいとなっている。安全文化を醸成するためにも職員からの報告を改善に結びつけていく。

データ提供 医療の質・安全対策部 安全管理室